

議会報告会会議録	
1 開 会 日	平成 2 6 年 1 1 月 1 5 日（土） 午前 1 0 時 0 0 分 開会 午前 1 1 時 3 0 分 閉会
2 場 所	国府支所 2 階 第 1 ・ 2 会議室
3 出席議員	奥津勝子議長 （開会あいさつ） 高橋英俊副議長 （閉会あいさつ） （第 1 班） 高橋富美子議員 （司会進行） 三澤龍夫議員 （平成 25 年度決算のおもな審査内容） 関威國議員 （議会による事務事業評価：都市交通推進事業） 清水弘子議員 （議会による事務事業評価：支援教育推進事業） 高橋英俊副議長 （（仮称）大磯町省エネルギー及び再生可能エ ネルギー利用の推進に関する条例（素案）） 竹内恵美子議員 （意見交換） （第 2 班） 吉川重雄議員 （記 録） 鈴木京子議員 （ ） 二宮加寿子議員 （会場受付） 坂田よう子議員 （ ） 渡辺順子議員 （マイク設置等） 片野哲生議員 （写真撮影）
4 参加者	2 9 人
5 報告事項	（１）平成 2 5 年度決算のおもな審査内容について （２）（仮称）大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の 推進に関する条例（素案）について （３）意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、各報告担当議員から決算審査や試行実施した議会による事務事業評価及び（仮称）大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例（素案）についてパワーポイントを使い報告し、質疑応答を行った。

（１）あいさつ・・・奥津勝子議長

議会報告会を開催してから５年目を迎える。平成 25 年度決算の審査における議論の経過・結果など議会としての考え方を報告する。

また、昨年より政策立案、政策提言に向けた調査・研究テーマとして「自然エネルギーの導入推進に向けた制度の整備」を決定し、調査、研究を行ってきた。

（仮称）大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例（素案）がまとまったので報告する。

皆様と自由な意見交換を行いたいと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。質問によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町からの回答は、後日報告させていただく。

（２）平成 25 年度決算のおもな審査内容報告・・・三澤龍夫議員

『議会だより大磯』第 175 号及び議会報告会資料に基づき、平成 25 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

また、新たな取り組みとして実施した議会による事務事業評価を報告。

議会による事務事業評価（都市交通推進事業）報告・・・関威國議員

議会による事務事業評価（支援教育推進事業）報告・・・清水弘子議員

◎主な質疑

問：支援教育推進事業について、議会による事務事業評価では「一部見直しのうへ継続する」と評価している。支援員配置の見直しの話も出たが、どこに問題があり具体的にどのような対策をするのか。

答：年度当初に支援員に対し研修が行われているが、この研修が不十分なこと、また、現状では支援員に資格が問われておらず、資格を考える必要があるのではないかと関係者からの要望もある。良い制度だが、支援員が子どもの状況をよく把握できず支援している状況もあるので、その辺りを解消するような研修をすべきだと議会は求めている。

問：都市交通推進事業について、議会による事務事業評価では「抜本的な見直しのうえ継続する」と評価しているが、決算特別委員会での方向性としては具体的にどのようなことを考えているのか。

答：平成 24 年度予算を可決する際、ルート見直し等の付帯決議を付けたが、その後なかなか改善されず、町はニーズに応えていない状況。平成 26 年に新たなルートとなったが、費用対効果の面で見直しが必要ではないかとの意見もある。ニーズ把握を含め、二宮町のデマンド方式等模索するよう議会は求めている。

問：都市交通推進事業で、陸運局を通さない方法があるといった話が出たが、具体的にどのような方法があるのか。

答：路線バスのルートは他社が走行できないといった規則があると聞いていたが、二宮町を見るとそうでもないようだ。乗り合いタクシーなど別の方法もあるので、規則にとらわれない斬新的な方法を考えたかどうか、ということである。

問：生活交通バスを見るとほとんど人が乗っていない印象がある。町は、費用対効果でどのくらいを狙っているのか。

答：予算的には 2,000 万円近く掛かっている。議会はそれを「よし」とは言えないが、必要な事業だとは考えている。
費用対効果に対する町の考えは、町に申し送りし、後日回答をいただくようにする。

問：子どもの通学や高齢者の通院など、一律のバスで対応すること自体が何か無理な気がする。分けて考えるべきではないか。

答：当然、子どものニーズと高齢者のニーズは違うので分けて考えるということはいいい考えだと思う。何かニーズに合うような形が構築できればと考える。
町に申し送りし、後日回答をいただくようにする。

問：地域で地域交通について検討を行っているが、情報が住民に来ていない。

答：町からは、地元住民と話し合いを進めており、26 年 12 月頃から新しい方法を考えていくことになっていると聞いている。皆さんの声は町に伝える。

意：町が存続できるような施策を考えてほしい。人口減少に対応するにはスマートシティ化が必要だと思う。生活交通バスの件も住民がバラバラに住んでいるので、薄く広くいろいろなことを行わなければならないが、考え方を変えていかないと町はやっていけなくなるのではないか。

意：町はごみの戸別収集を行っているようだが、戸別収集を頼むには基準以上の介護認定の等級が必要で、費用も1回あたり2,000円かかると聞くが高いと思う。高齢者でゴミ出しができない人たちをどうしたらよいか、もっと考えてほしい。

問：電動生ゴミ処理機と生ゴミ処理容器コンポスターの補助件数は何件か。

答：町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

(3) (仮称) 大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例(素案) 報告

・・・高橋英俊副議長

検討経過、制定スケジュール、(仮称) 大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例(素案) 及び現在行っているパブリックコメントについて報告。素案に対する意見を伺った。

◎主な質疑

問：今回制定する条例は理念条例ということだが、条例制定後の具体的筋道はどうなるのか。

答：議会は、メガソーラーを推奨しているのではない。エネルギー問題についてもう一度考えてほしいということが条例制定の目的である。自然エネルギーを活用し、原発への依存を減らしていきたい。条例制定後、町は条例の理念を実現するため運用規程等を整備する。

意：大磯町は標高差がないので水力発電は無理で、風力、地熱も期待できない。省エネルギーについては議会が率先して普及活動することが大事だと思うが、再生可能エネルギーについては他地域の再生可能エネルギーを指定して買う制度を作るなど、国全体で進めることも必要だと思う。発電の変動を考えると難しいので、町全体で再生可能エネルギー率を上げ、省エネルギーを推進してほしい。

問：エネルギー問題は大きな課題だと思う。幸いにして、町には直接電力を生産する場所がない。原子力発電所がある地域の人たちは非常に苦労していると思うが、その人たちの気持ちも汲みながら慎重に検討されるべきことだと思う。核は悪の根源のような言い方に聞こえたが、地元は苦労されていると思う。

答：雇用問題やいろいろな問題があり、原子力発電所がある地域の人たちと無い地域の人たちの意識の差はすごくあると思う。一方的な観点でなく、大きな観点で考え、進めていきたい。

(4) 意見交換

意見交換を実施。

◎主な質疑

問：マリア道について、国際学園は道の整備は自分たちで行うと言ったのだから、町が整備する必要はない。

答：町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問：月京の上り線バス停（主要地方道相模原・大磯線）は、利用者が多く歩道が狭いため危険だ。県の管轄と思うが官地もあるはず。歩道が広がらないか。

答：町から県に要望するよう伝える。

問：西小磯の JR 北側に町民が集える場所がない。老人憩の家までは遠く、会合するにも難しい。何とか考えていただけたら有難い。

答：町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問：市民活動を行っているが、町には町民が集い活動するための場所がない。平塚市や二宮町など近隣市町には市民活動センターがあり、活動の場や印刷機などが用意されている。大磯町も町民の活動を活発にしていく工夫が必要と考えるが、いかがか。

答：町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問：町は姉妹都市協会というものをどのように考えているのか。

答：町の考えを求めているので、町に申し送りし、後日回答をいただくようにする。

問：ジョンソンから寄贈してもらった国府小学校前の時計の針が止まっている。

馬場公園の時計は新しくなったようだが、町として恥ずかしくないのか。お金が掛かるなら撤去すべきだ。

答：今は個人の会社が持っており、直すことができないか催促している。公共性もあるので町へ頼んでいるが、対応はまだできていないので再度申し送る。

(5) 閉 会